

山岳遭難発生状況

山岳遭難の発生状況

※数値は暫定値です

	令和8年6月末	去年同期	増減
発生件数	22件	24件	-2件
遭難者数	28名	29名	-1名

6月中は『5件7名』の山岳遭難が発生し、**祖母山**では何らかの原因で転落したと思われる**死亡事案**が発生しています。

足元や周辺の安全確認を徹底し、転倒・滑落・転落等には十分注意してください。

また、梅雨が明けてからは本格的な夏山シーズンになります。

この時期は、**熱中症への警戒が必要**です。

登山に必要な水分量は

『体重(kg)] × 『時間(H)] × 『5 (ml)]』

を目安としています。

発汗量が増える夏場には**『+ α』**の水分も用意しましょう。

また、**こまめに水分補給**するほか、**飴やタブレット**などで塩分も忘れずに補給しましょう。

安全登山のために

○ 登山届の提出

登山届の提出が**非常に低調**です。

遭難した登山者の提出率は**『1割以下(22件中2件)』**です。

山岳アプリ『コンパス』『YAMAP』から登山届を提出できます。

同アプリは、登山中に**自分の位置が表示**されるため**道迷いの防止**になります。

○ 下山時の遭難に注意

大分県内の山岳遭難は、**8割以上が下山時に発生**しています。

疲労の蓄積や**気の緩み**などにより、**注意力が散漫**となり、**足元の安全確認不足**や**分岐点の見落とし**などが発生しやすくなります。

○ 単独登山の危険性

単独登山の場合、滑落や急病などで、**自分自身で救助を呼べない**状況に陥る可能性があります。

複数人で一緒に登山することにより、事故発生時に**同行者が救助要請**することで**早期救助**に繋がります。



大分県電子申請システム

